

**社会資本総合整備計画
（社会資本整備総合交付金）
事後評価書**

**《下水道管の整備》
R3～R6**

【下水道課】

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年07月22日

計画の名称	米沢市における下水道未普及地域の整備（重点計画）												
計画の期間	令和03年度～令和06年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	米沢市												
計画の目標	事業計画区域内における未普及地域の早期解消により、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	29	A	29	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	下水道が利用可能な区域の割合を80.616%（R3当初）から80.665%（R6末）に増加させる。 下水道が利用可能な区域の割合（%） 下水道処理区域面積（ha） / 公共下水道（汚水）事業計画区域の面積（ha）	81%	%	81%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
定量的指標の当初現況値（R3当初）：80.616% 定量的指標の最終目標値（R6末）80.665%												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	東部第3汚水幹線系枝線(未普及対策)	150 L=52m	米沢市						6	-	
	A07-002	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	東部第1汚水幹線系枝線(未普及対策)	150mm L=69m、 200mm L=24m	米沢市						13	-	
	A07-003	下水道	一般	米沢市	直接	米沢市	管渠(汚水)	新設	八幡原第5汚水幹線系枝線(未普及対策)	150 L=52.8m	米沢市						10	-	
												小計						29	
												合計						29	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
本評価の実施にあたっては、評価の透明性、客観性、公正さを確保するため、学識経験者等の第三者の意見を求めて評価を行った。	令和7年度
	公表の方法
	市のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	事業計画区域内において、汚水整備を実施し、未普及地域の早期解消が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	生活環境の改善と公共用水域の水質保全が図られた。
特記事項（今後の方針等）	
私道への下水道管の整備が主であることから、下水道管の整備要望があった箇所を中心に未普及地域の早期解消に向け取り組んでいく。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	下水道が利用可能な区域の割合を80.616%（R3当初）から80.665%（R6末）に増加させる。		
	最終 目標値	81%	計画通り事業を実施したことにより、「下水道処理区域面積（ha）」 / 「公共下水道（汚水）事業計画区域の面積（ha）」 × 100 = 1,813.82ha / 2,248.20ha × 100 = 80.678%となり、目標を達成することができた。
	最終 実績値	81%	